

令和4年度

各教科の評価について

3 学年 / 2 学期

この冊子には、各教科の『観点別学習状況の評価（A・B・C）』の
評価対象や方法等についてまとめてあります。

★各観点の目標に対して

○十分満足できると判断されるもの → A
(達成率 80%以上の場合)

○概ね満足できると判断されるもの → B
(達成率 50%以上)

○努力を要すると判断されるもの → C
(達成率 50%未満)

★各教科3つの観点別学習状況の評価を総合して、
その教科の『評定（5・4・3・2・1）』が決まります。

令和4年9月

港区立高陵中学校

3年2学期

国語科の評価について

教科担当

中西

評価の観点

・今学期の目標 評価対象 評価方法など

● 知識・技能

以下の学習活動を通し、国語の知識や技能を身につける。

- ・「漢字」…常用漢字を文や文章の中で活用することができる。
- ・「語彙」や「文や文章」…語句の量を増やし、語句について理解を深めることができる。
- ・「表現の技法」…表現の技法についてその名称とともに理解し使うことができる。
- ・「情報に関すること」…様々な媒体から必要な情報を取り出し、情報同士の関係を整理して、発信したい情報を様々な手段で表現することができる。
- ・「伝統的な言語文化」…伝統的な言語文化に親しみ、長く親しまれている言葉や古典の一節を引用して使うことができる。
- ・「書写」…身の回りの多様な表現を通して、効果的に文字を書くことができる。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）・定期考査など

● 思考・判断・表現

以下の学習活動を通し、考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いを広げたり深めることができる。

- ・「聞くこと・話すこと」…自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫して話したり聞いたりすることができる。
- ・「書くこと」…表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書くことができる。
- ・「読むこと」…文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価をすることができる。

【評価方法】討論や発表・課題作文・授業課題（ワークシートなど）・定期考査

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・「文学的文章(登場人物の言動の意味を読み取る単元)」では、「言動の意味が、ストーリーの展開にどのように関わるかを考察する」言語活動を通して、既存知識を調整して課題解決を図るなど、主体的に学習に取り組もうとしている。
- ・「説明的文章(文章の構成や論理の展開を読み取る単元)」では、文章を「比較」や「批評」する言語活動を通して、課題を解決するための粘り強さを養いながら、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）

【評価例】※「文学的文章(登場人物の言動の意味を読み取る単元)」で、「言動の意味が、ストーリーの展開にどのように関わるかを考察する」ことが授業目標の場合

- A…「言動の意味」を文章中の言葉を引用して説明して、その後の展開にどのような役割や意味をもたらすのかを、説得力を高めるために推敲を繰り返し、具体的事例（体験談や既存学習分野を調整して活用）を用いて解説している。
- B…「言動の意味」を文章中の言葉を引用して説明して、その後の展開にどのような役割を担うのかを読む側の立場に立って解説している。

3年2学期

社会科の評価について

教科担当

小柳

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

【公民】第2章 個人の尊重と日本国憲法 第3章 現代の民主政治と社会
第4章 私たちの暮らしと経済

● 知識・技能

- ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。
- ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障、地方自治の基本的な考え方について理解している。
- ・消費生活を中心に経済活動の意義と市場経済の基本的な考え方について理解している。
- ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。

【評価方法】 定期考査、単元テスト、ワークシート、レポート、発言発表、行動観察

● 思考・判断・表現

- ・個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。
- ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
- ・個人や企業の経済活動における役割と責任、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。

【評価方法】 定期考査、単元テスト、ワークシート、レポート、発言発表、行動観察

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
- ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
- ・市場の働きと経済、国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

【評価方法】 行動観察、発言発表、ノート、ワークシート、レポート、提出物（宿題等）

【評価例】 単元の学習の振り返り時の記述を基に評価する場合。（ワークシート）

A・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述し、さらに妥当性のある根拠をもった具体的な解決策を提案したりするなど、質的な高まりや深まりをもとうとしている。

B・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述しようとしている。

3年2学期

数学科の評価について

教科担当

桑原・大久保・和田

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

4章 関数の世界をひろげよう〔関数 $y=ax^2$ 〕

5章 形に着目して図形の性質を調べよう〔相似な図形〕

6章 円の性質を見つけて証明しよう〔円〕

● 知識・技能

- ・関数 $y=ax^2$ の関係を式に表すことができる。
- ・放物線と直線の 2 つの交点の座標や 2 つの交点を通る直線の式を求めることができる。
- ・相似比の意味を理解し、相似比を求めることができる。
- ・中点連結定理を利用して、線分の長さを求めることができる。
- ・円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 思考・判断・表現

- ・関数 $y=ax^2$ の変化の割合を、1 次関数の変化の割合と対比させて考え、説明することができる。
- ・放物線と直線の 2 つの交点の座標や 2 つの交点を通る直線の式の求め方を考え、説明することができる。
- ・三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明することができる。
- ・中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。
- ・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。
- ・円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、証明することができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・関数 $y=ax^2$ 、相似な図形の性質、円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
- ・毎時間の授業に積極的に参加し、数学を活用して、問題解決に向けて積極的に取り組もうとしている。
- ・分からない問題に対し質問をしたり、話し合いをしたりすることで粘り強く考察し、解決しようとしている。
- ・ワークシートを工夫しながら書いている。
- ・課題などの提出物に粘り強く取り組み、分からない問題は繰り返し解くことで理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。

【評価方法】

単元テスト、行動観察、ワークシート、振り返りシート

【評価例】

1つの問題に対するいくつかの解き方を比較し、自分なりの考察を加えて、残した記述をもとに評価する場合。(ワークシート)

A・・・複数の解決方法に対して自分なりの考察を加え、より良い方法を理由とともに記述しようとしている。

B・・・複数の解決方法があることを理解しようとしている。

3年2学期

理科の評価について

教科担当

儀保

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

● 知識・技能

- ・太陽系の天体の特徴をおさえ、それらの動きや見え方を理解することができる。
- ・力やエネルギーの種類と特徴を理解することができる。
- ・教科書で学習した理科用語について、正しく説明し、的確に用いることができる。
- ・太陽や恒星、衛星の動きを観察することができる。
- ・力がはたらいっている台車の実験や物体のもつエネルギーを調べる実験を正しく行うことができる。
- ・安全に配慮しながら実験器具を正しく操作し、実験を行うことができる。
- ・実験の結果や観察のスケッチなどを、正確に記録することができる。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、レポート、ワークシート、小テスト、定期考査

● 思考・判断・表現

- ・太陽系の天体や恒星の動きと見え方、日食や月食の仕組みについて捉えることができる。
- ・物体が運動するようすと力の関係、仕事とエネルギーの関係を見出すことができる。
- ・観察プリントや実験レポートを適切にまとめている。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、レポート、ワークシート、定期考査

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・太陽系の天体の特徴に興味をもち、惑星や衛星等の天体について進んで調べようとしている。
- ・天体の動きと人の生活とのかかわりや宇宙開発・研究に興味をもち、宇宙や天体について進んで調べようとしている。
- ・力や物体の運動、仕事やエネルギーについて興味を示し、進んで調べようとしている。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、自己評価、ノート、レポート、ワークシート、課題提出

【評価例】

学習した知識及び技能を活用して課題を解決する場面を設定した場合。

A…学習方法や課題を解決しようとした取り組みが記述できており、学習意欲やそれを高めた方法を記述している。

B…学習方法や課題を解決しようとした取り組みが記述できている。

3年2学期

音楽科の評価について

教科担当

山 崎

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

歌唱【花の街】◎ガイダンス ◎日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう
 鑑賞【能】【ポピュラー音楽】◎音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう
 器楽【こかげの思い出・ふるさと】◎曲の構成を理解し、表情豊かに演奏しよう。
 合唱【合唱コンクール課題曲】◎全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう

● 知識・技能

- ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。
- ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表すことができる。
- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。

【評価方法】定期考査 行動記録 ipadによる記録 スクールタクト ワーク

● 思考・判断・表現

- ・ 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えをもち、言葉にすることができる。
- ・ 曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いたことを記述することができる。
- ・ リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を書き込むことができる。
- ・ 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を書き込むことができる。

【評価方法】定期考査 まなびポケット記入 ワーク iPadによる記録

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】定期考査 行動観察 ワークシート iPadによる記録

【評価例】

○教科書・ワーク・楽譜・まなびポケット提出

A・・・工夫しようとしている（自分で調べたこと、友達の意見、色を使っている）

B・・・学んだことを書き込もうとしている。

○iPadによる学習の成果の記録

A・・・最初に録音したものと学習を深めた後の録音で変化をつけている。

B・・・最初に録音したものと学習を深めた後で変化はわからないが言葉で伝えようとしている。

3年2学期

美術科の評価について

伊 藤

評価の観点

・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

・ 知識・技能

- ・ 造形的な見方、考え方を働かせて表現の技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表現することができる。
- ・ スクラッチの技法を理解し、制作に活かすことができる。
- ・ ニードル、篆刻刀などを用いて印文がバランスよく彫られ、美しく押印できる。
- ・ 石の特性を理解し、篆刻刀ややすり、耐水ペーパーなどの用具を的確に使い、造形的な美しさを追及している。
- ・ 作業手順を理解し、計画に合わせて表現の工夫をしながら、的確に作業を進める。
- ・ 日本美術史の概要を把握している。

・ 思考・判断・表現

- ・ 機能性と洗練された美しさとの調和について考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練っている。
- ・ 様々な書体や作例から、印面や持ち手の部分のデザインを発想し、作品の構想を練っている。
- ・ 独自のイメージを基に、使いやすさ、美しさを兼ね備えた作品を考えている。
- ・ 作業手順を理解し、計画に合わせて表現の工夫をしながら、的確に作業を進める。
- ・ 技法や表現の効果を取り入れながら多様な可能性（複数のアイデア）を検討し、最善の表現のための構想を練っている。
- ・ 機能性と美の調和や材料の特徴を生かしたよさを味わい、制作意図やアイデア、作品に込められた人々の思いを深く感じ取っている。
- ・ 作品鑑賞においてよさや美しさを味わい、作者の意図や表現の多様性を理解することができる。
- ・ 美術作品や表現に関することに関心を持って理解を深めている。
- ・ 美術文化や表現様式に対して、見方や感じ方を深めている。
- ・ 日本美術史の概要を把握し、各時代の特徴やよさを味わうことができる。

・ 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 技法や材料の相違による創造活動の喜びを味わい、主体的に学習に取り組もうとしている。
- ・ 様々な日本の作品と文化に対する理解を深めようとしている。
- ・ 篆刻や篆刻の歴史を理解し、篆書体の美しさや面白さに興味を持とうとしている。
- ・ 印の種類や様式などを考え、独自のイメージを取り入れて表現することに関心を持って制作しようとしている。
- ・ 授業や課題には積極的に取り組み、意欲的に作業をしたり発言したりしようとしている。
- ・ 作品の完成度を高めるために創意工夫をし、最後まで根気よく丁寧に制作しようとしている。
- ・ 美術の準備、後片付けができ、作業時間を有効に利用しようとしている。
- ・ 忘れ物をしない。提出物の提出期限を守ろうとしている。

今学期の主な評価対象

- ・ 授業への取り組み方
- ・ アイデアスケッチ
- ・ 作品
- ・ 期末考査

3年2学期

保健体育科の評価について

教科担当

菅谷・服部

評価の観点 今学期の目標・評価対象・評価方法など

陸上競技（走り高跳び）・水泳・器械運動（跳び箱）
 球技（ソフトボール・バレーボール・バスケットボール）
 体育理論（文化としてのスポーツ）・保健（健康な生活と病気の予防・健康と環境）

● 知識・技能

○知識

- ・技や技術の名称と行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。
 （陸上競技・水泳・器械運動・球技）
- ・文化としてのスポーツの意義について理解している。（体育理論）
- ・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。（健康な生活と病気の予防）
- ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。（健康と環境）

○技能

- ・リズムカルな助走から真上に伸び上がるように踏み切り、はさみ跳びや背面跳びなどの空間動作で跳ぶことができる。（走り高跳び）
- ・手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。（水泳）
- ・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。（跳び箱）
- ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。（ソフトボール）
- ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
 （バレーボール）
- ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。（バスケットボール）

● 思考・判断・表現

- ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。（陸上競技・水泳・器械運動・球技）
- ・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。（体育理論）
- ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。（保健：健康な生活と病気の予防）
- ・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。（保健：健康と環境）

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・陸上競技、水泳、球技、器械運動、体育理論、保健の学習に自主的に取り組もうとしている。
- ・仲間に課題を伝え合うことや、互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。
- ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。
- ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。
- ・自己や仲間の課題解決に向けた話合いや作戦などについての話合いに貢献しようとしている。
- ・健康・安全を確保しようとしている。

【評価方法】・行動観察 ・学習カード ・実技テスト ・期末考査

【評価例】 仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている様子を観察して評価する場合。

A・・・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を常に果たそうとしている

B・・・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。

3年2学期

技術科の評価について

教科担当

末永

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 材料と加工に関する技術
- ・点融点合金を使用した鋳造作品の作成

● 知識・技能

- ・金属の特性を理解することができる。
- ・金属を加工し、作品を制作することができる。

【評価方法】

小テスト、定期考査、行動観察、ワークシート、作品

● 思考・判断・表現

- ・実習の際に手順などを考えて、より緻密な作品を作ることができる。
- ・毎回の授業で学んだことをまとめ、表現することができる。

【評価方法】

定期考査、行動観察、ワークシート、作品

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・実習の際に、自分の作業ペースを考えながら、毎回適切な目標を立てようとして、それを達成するために、粘り強く作業に取り組もうとしている。
- ・積極的に社会的な課題やSDGsなどについて考え、それを解決するためにはどのようなことができるかなどを考え、探求しようとしている。
- ・作品の完成度が上がるために粘り強く作業に取り組むことができる。

【評価方法】

行動観察、ワークシート、定期テスト、作品

【評価例】

作品づくりをする際の最初の目標設定と最後の振り返りで評価する場合。（ワークシート）

- A・・・自分の作業ペースを考えながら、その日の目標を具体的に立てることができ、振り返りの際に達成・未達成にかかわらずなぜこの結果になったのか記入しようとしている。
- B・・・その日の最初に目標を立てることができ、振り返りの際に、達成できたが未達成だったのか記入しようとしている。

3年2学期

家庭科の評価について

教科担当

井上

評価の観点

・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

5 編 2 章 幼児の生活と家族

● 知識・技能

- ・ 幼児にとっての遊びの意義について理解している。
- ・ 幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について理解している。
- ・ 幼児との関わり方について理解している。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品

● 思考・判断・表現

- ・ 幼児の遊びの意義を踏まえ、幼児との関わり方を工夫している。
- ・ 幼児の心身の発達に応じたおもちゃの製作を通して、課題を設定し、工夫している。
- ・ 幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、計画している。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価方法】

行動観察・ワーク・振り返りシート

【評価例】

課題に対して自分で立てた計画や考えを振り返り、自分なりの考察を加えて残した記述をもとに評価をする場合。

A…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどを参考に、向上心を持ち自ら取り組むなど具体的な解決策を考え、実生活に生かそうとすることが伝わる記述や作品作りをすることができる。

B…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどがあることを理解することができる。

教科担当

英語科の評価について

3年2学期

石川・檉原

細野・小野

評価の観点 ・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

Unit 4 ・ 災害情報を読み、どのように行動すべきかを理解し、伝え合ったりすることができる。

Unit 5 ・ ガンディの功績を知り、平和や人権の大切さを考え、発表することができる。

Let's Write 3 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。

Let's Listen 4 ニュースなどの音声聞いて、概要や要点を理解することができる。

Let's Talk 2 ・ 困っている相手に状況にあった手助けをすることができる。

Let's Listen 5 人物の経歴を聞き、内容を理解することができる。

Unit 6 架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。

Let's Listen 6 スピーチを聞いて、概要をとらえることができる。

また自分の意見や考えを加えてスピーチができる。

Stage Activity 2 日本や強度の文化を紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。

【知識・技能】

- 間接疑問文を使った文の形・意味・用法を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に付けている。
- 現在分詞、過去分詞の後置修飾の文の形・意味・用法を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に付けている。
- 関係代名詞(*that, who*)を使った文を理解し、詳しい情報を加えて英語で伝えたり、書いたりする技能を身に付けている。
- ニュースの音声聞いて、内容を聞き取る技能を身に付けている。
- インタビューを聞き、内容を理解したり、聞いた内容を伝えたりする技能を身につけている。
- 仮定法の文の形・意味・用法を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に付けている。
- so that* 構文、*too to*構文の文型を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に付けている。
- 自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現を理解している。
- 話の流れに沿って、適切なポーズやイントネーションで本文を音読することができる。

【思考・判断・表現】

- 外国人の災害体験を読んで、相手に必要な情報を提案することができる。
- 平和や人権の大切さを考える内容の文章を読んだり、自分の尊敬する人物について詳しい情報を加えて伝えたりすることができる。
- ニュースを聞いて、概要や要点をとらえることができる。
- 資料から読み取った情報について、事実と意見を整理してまとめ、レポートすることができる。
- 日本を訪れる人に、日本の魅力を伝えるために、日本や郷土の文化を調べ、詳しい情報をまとまりのある文章を書いて伝えることができる。
- 国際社会の状況について書かれた文章の概要をとらえたり、意見や感想を伝えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 外国人の人に防災対策について伝えたり、必要な対策を考えようとしていたりしている。
- 自分が尊敬する人について、詳しい情報を加え、伝えようとしている。
- 必要な情報を得るために、相手に即興で質問したり、自分の意見を言おうとしていたりしようとしている。
- 日本の魅力を海外の人に伝えるために文章を読み取ったり、詳しい情報を加えてまとまりのある文章を書いて、伝え合ったりしようとしている。
- 相手の状況に配慮しながら質問したり、会話を継続しようとしていたりしている。
- 社会的な話題に関して、自分の立場を決め、理由と根拠を明確にして相手に伝えようとしている。

(評価方法) 行動観察、ワークシート、パワーポイント資料、定期考査、ワークブック等

(評価例) 「A」 日本の文化紹介について調べた内容について、80語以上用いて詳しい情報を相手に伝わりやすく発表している。

「B」 日本の文化紹介について調べた内容について、80語程度でパワーポイントを用いて発表している。